

ハレハルドの丘

2013
3月
No.25



目次

みことば・きらりん	2
巻頭言	3
ヴォイス(1)	4
おでかけ・できごと	6

ヴォイス(2)	8
ぽっかぽか	10
ぴかぴかぴか・人事・お知らせ…	11
行事予定・編集後記	12

▼「みことば」では聖書等の御言葉をお伝えします▼「きらりん」では皆様の活動をお知らせします

みことば

わたしをあなたの平和の道具として使いください。憎しみのあるところに愛をいさかいのあるところにゆるしを、

分裂のあるところに一致を疑惑のあるところに信仰を、誤っているところに真理を、絶望のあるところに希望を、

闇に光を、喜びをもたらすものとして慰められるよりは悲しみのあるところに喜びをもたらすものとして慰められるよりは理解されることを、理解されることは、慰められることは、愛されるよりは愛されるよりは慰められることは、愛されるよりは慰められることは、

わたしが、求めますように。わたしは与えるから受け、ゆるすからゆるされ、自分を犠牲にすることで、永遠の命をいただくのですから。

きらりん☆お正月行事

1年の始まりであるお正月。恵の聖母の家で年越しをした利用者の皆さんと、素晴らしい2013年の元旦を迎えました。1月1日は、長倉先生の新年の挨拶から始まりました。「今年もみんなを笑わせる」という言葉に、

利用者をはじめ職員も、わくわくし期待が膨らんだのではないでしょうか。職員の5レンジャーによる初笑いの寸劇は、普段見慣れた顔ではなく、被り物をした姿で行われました。被り物をしていてもすぐに気付き、たくさんの笑い声が聞こえていました。また、昔ながらの和傘も見ることができ、古き良き日本の良さを感じることができたのではないでしょうか。そして毎年恒例のお屠蘇では、ひとりひとり総師長から杯に注いでもらい、それぞれ介助で飲んだり飲めない人は唇に少しつけてもらっていました。お酒好きかな?と思うほど、しっかり目を開けて飲んでいる様子も見られました。1日の午後からは獅子舞が行われ、最初は獅子が1頭でしたがその後2頭になり、皆さんの頭やお腹などにかみついていました。最初は怖がっていた方も、獅子が去った後、福の神が来ると笑顔が戻り、もらったお菓子を美味しそうに食べる姿も見られました。2頭の獅子のおかげで、今年も良い年になりますね。1月2日は終日、各棟お正月遊びや書き初め、映画鑑賞を行いました。



さて今年はへび年ですね。へびの特徴は探究心と情熱だそうです。へびは、恩を忘れず助けてくれた人には恩返しをすると言われているそうです。利用者は3名、職員も数名のへび年生まれがいます。へびのように探究心と情熱をもつて、今年1年皆様にとって素晴らしい年になりますように。

(保育士 黒木 優)

表紙写真は昨年11月のランチバイキングの一場面です。

卷頭言

施設長 佐藤圭右

今月（一月）は、来年度の計画を立てている真っ最中です。

今年度は、障害者自立支援制度の改革もあり、年度当初は事務手続き上などで若干の混乱もありましたが、現在は概ねうまくいっているようです。

新制度では、入所利用者は制度上は児者が区別されましたが、実際は児者一貫の制度が守られ、今のところは利用者には以前と変わらない療育が提供されていると思います。

当施設では、年に一回、年明けからの一ヶ月の時期に、ヒアリングと称して、自分を含めた幹部職員が、各部署からの要望を聞く機会を設けています。

その中で、看護部や生活福祉課からの要望も、利用者の視点に立った食事時刻の改善や自宅への日帰り訪問などが挙げられていました。人員の配置や費用の負担など、考えなければならない問題もありますが、興味を惹かれるものがありました。

一方、新制度では、在宅利用者に対する福祉サービスが整理されました。

当施設では、在宅障がい児者の皆さんに対する

し、四月から福祉型児童発達支援センター「めぐみ」として、福祉サービスの提供を開始しました。当初は、重症心身障がいを専門とした放課後等ティーサービスや十八歳以上を対象とした生活介護と、発達障がいも含めた保育所等訪問支援から始めました。その後、体制も整い、本年一月からは相談支援事業所「こころ」も開設することができました。

また、センターで皆さんの利用を待つだけではなく、地域に出かけていくことも大切だと考えていました。その一つとして、市町村の健診事業があります。これまで、市町村を始め、地域の医師会の先生方と協力し、乳幼児健診をさせていただきました。今年度からは、大分県と大分大学医学部小児科学講座を中心に行っている五歳児健診へ健診医の一人として参加し、発達障がいなどの早期発見、早期療育の開始に努めています。

従来、重症心身障がい児者施設は、重症児者の入所施設としての機能を中心としてきました。しかし、現在は社会資源の一つとして、健診事業があります。これまで、市町村を始め、地域の医師会の先生方と協力し、乳幼児健診をさせていただきました。今年度からは、大分県と大分大学医学部小児科学講座を中心に行っている五歳児健診へ健診医の一人として参加し、発達障がいなどの早期発見、早期療育の開始に努めています。

従来、重症心身障がい児者施設は、重症児者の入所施設としての機能を中心としてきました。しかし、現在は社会資源の一つとして、健診事業があります。これまで、市町村を始め、地域の医師会の先生方と協力し、乳幼児健診をさせていただきました。今年度からは、大分県と大分大学医学部小児科学講座を中心に行っている五歳児健診へ健診医の一人として参加し、発達障がいなどの早期発見、早期療育の開始に努めています。

支援するために、療育や相談を行つものです。

地域療育等支援事業には、ほかに、訪問援助事業や在宅支援外来療育等指導事業、施設支援一般指導事業などがあり、在宅障がい児者の皆さんに対しても、より有益な福祉サービスを提供できるのではないかと考えています。再来年度に大分県から委託を受けることができるかと思っています。

★

さらに、来年度からは、大分県から、一部ではありますが、障がい児等地域療育等支援事業の委託を受け、臼杵市と豊後大野市の巡回療育相談事業を行うこととなりました。この事業は、在宅障がい児者の地域での生活を

地域療育等支援事業には、ほかに、訪問援助事業や在宅支援外来療育等指導事業、施設支援一般指導事業などがあり、在宅障がい児者の皆さんに対しても、より有益な福祉サービスを提供できるのではないかと考えています。再来年度に大分県から委託を受けることができるかと思っています。

★

従来、重症心身障がい児者施設は、重症児者の入所施設としての機能を中心としてきました。しかし、現在は社会資源の一つとして、健診事業があります。これまで、市町村を始め、地域の医師会の先生方と協力し、乳幼児健診をさせていただきました。今年度からは、大分県と大分大学医学部小児科学講座を中心に行っている五歳児健診へ健診医の一人として参加し、発達障がいなどの早期発見、早期療育の開始に努めています。

従来、重症心身障がい児者施設は、重症児者の入所施設としての機能を中心としてきました。しかし、現在は社会資源の一つとして、健診事業があります。これまで、市町村を始め、地域の医師会の先生方と協力し、乳幼児健診をさせていただきました。今年度からは、大分県と大分大学医学部小児科学講座を中心に行っている五歳児健診へ健診医の一人として参加し、発達障がいなどの早期発見、早期療育の開始に努めています。

支援するために、療育や相談を行つものです。

地域療育等支援事業には、ほかに、訪問援助事業や在宅支援外来療育等指導事業、施設支援一般指導事業などがあり、在宅障がい児者の皆さんに対しても、より有益な福祉サービスを提供できるのではないかと考えています。再来年度に大分県から委託を受けることができるかと思っています。

検査



初めての新茶作り

検査技師
茂田 実

恵の聖母の家に勤めさせていただけ
き、今年で六年目を迎えます。お陰
様で皆様に助けていただきながらの
日々を送っています。三年程前、野
津町内に古民家を借り生活していま
す。今、住んでいる区では、年間三
ヶ月の草刈りがあり、草刈機が必
要で購入しました。毎年、家のまわ
り（宅地内）、道路、農道、他十回ほ
ど、草刈りしていますので、かなり
草刈機の扱いが上手くなりました。
毎年、宅地内にさつまいも、かぼち
や、にがうり、オクラ等を少しずつ
作っていますが、これらも年々、収
量が増え上手になりつつあります。
去年、家の周り（宅地内）にお茶
の小木が三十本ほどあるのに気づき
ました。以前は草刈機で雑草と一緒に
刈り捨てていましたが、ふと、こ
れで新茶を作つたらどうだろうかと
思い、インターネットで調べてみた
ら、簡単に素人でも、電子レンジを
使い、新茶作りが出来ることがわか

何度かトライしてみたが、毎回、香りや甘みが違い、新茶作りは難しい、奥が深い。新茶特有の香り、旨みが出せない。調べてみると、揉みと加熱でお茶の味が変わるようで、今年こそ、上手い新茶作りを何度もトライして、達成感を感じたい。

五	を素手で軽く揉む。
四	またレンジで一分加熱（五百W）
三	両手で少し強く揉む。
二	レンジに葉を広げて一分加熱（五百W）
一	両手で葉を針のようにするつもりで揉む。
九	七と八を二～三回繰り返し、乾いたら出来上がり。
八	乾きが悪かったら、軽くフラフランで乾かす。
七	十

り、今回初めてトライしてみることにしました。

私は弥生から野津町まで二十数年間通勤しています。自然豊かなこの路は、四季の移ろいをいち早く感じさせてくれます。

十号線、中ノ谷トンネルを通つて大分方向に走つていくと、右手に断崖絶壁の石崖があります。その石崖に生えた数本の松！その姿の良さはちょっと目をひくものがあります。春にはその周辺に「一枚の絵」といった風情です。

しかし、この数年の間に、松に異変がみられます。岩肌に生えていた数本の松が一本、また一本と枯れていいくのです。松くい虫が原因かと思われますが、枯れたまま、未だにその姿を残している松、すでに白くなり風化しつつある松、半分が黄色に枯れ始めたばかりの松、これらの姿を毎朝見ていたら、「頑張れ」と祈るばかり。地球温暖化、環境破壊、そして再生。人間は何と都合のいいもののか？その都合の良さにしつかり便乗

き人物であろうとも人間は大自然の
営みの中のほんの一辺にすぎないの
ではと思う今日、この頃。
…と、大自然に浸っている私は近
代化にすっかり取り残されていま
す。パソコンやスマートフォン？画
面が縦やら横やらに変わる？そして
人々、機械オシチの私は近代化に恐
れおののいているのです。つい先日
も近くに電器店がオープンしました
が、その時買ったテレビもまだ箱の
中。車についているナビも起動に至
つていません。情けない話ですが、
現実なのです。しかし、先日、テレ
ビを観ていた同年代の女性の方が自
由自在にスマートフォンを使ってい
ました。「これしき、孫には負けられ
ない」と私もまだまだ現役。頑張ら
なくてはと思う今日この頃！

今日、この頃

看護助手 内倉万里子



われますか、枯れたまま、未だにその姿を残している松、すでに白くなり風化しつつある松、半分が黄色に枯れ始めたばかりの松、これらの姿を毎朝見ては、「頑張れ」と祈るばかり。地球温暖化、環境破壊、そして再生。人間は何と都合のいいもののか? その都合の良さにしつかり便乗

私は弥生から野津町まで二十数年間通勤しています。自然豊かなこの路は、四季の移ろいをいち早く感じさせてくれます。

十号線、中ノ谷トンネルを通って大分方向に走っていくと、右手に断崖絶壁の石崖があります。その石崖に生えた数本の松！その姿の良さはちょっとと目をひくものがあります。春にはその周辺に「一枚の絵」といふ風情です。

しかし、この数年の間に、松に異変がみられます。岩肌に生えていた数本の松が一本、また一本と枯れていいくのです。松くい虫が原因かと思

してしまっている私。なんだかはつきりせずに胃の重い物があるような不快を感じているのは私だけでしょうか?ただどんなに立派な業績を残されても人間であろうと悪名高

手作り
言語聴覚士 山口 紗智子

ここ数ヶ月のマイブーム。クリスマスカード、年賀状、誕生日カード、ボックスなどたくさんのものを作りました。とは言うものの、3段ボックスすら3時間かけても完成ができないほどの不器用な私。工作や細かい作業はできるだけ回避をして周りの人によつてもらっていた私。山口＝不器用のイメージが施設内でも定着してきた今日このごろ。

そんな私が、手作りに目覚めた理由は、訓練課で利用者さんと一緒にカードを作ったからです。何度も失敗しながら利用者さんと一緒に作るうちに、もらつた人はどんな反応をしてくれるかな、喜んでくれるかななど想像して作ることで、その楽しさに気付きました。一度楽しさに気付くとどんどんはまつていってしまう私。寝る時間も削り一夜で何十個もカードを作る日が続きました。すると、少しずつ上達し周りの人からも上手になつたねと言つてもらえたことが増えてきました。このような日々を通して「好き」とい

訓練



その上手なれ」ということを実感しました。何年も手作りでカードを作りたいと思っていてもできないだろうと決めて諦めてしまいました。しかし、やってみたいという思いがあれば、どんなことでも挑戦でき、それなりに上達していくのだということを再認識しました。

新年度が始まります。みなさんも、苦手だけどやってみたいということに挑戦してみませんか?

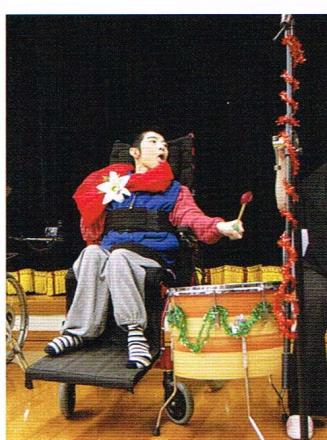
活福社課



保育士 赤嶺 綾
チャリティーショーに
参加して



恵の聖母の家に音楽クラブが発足して、早くも十年以上の歳月が流れました。月に一度の練習ですが、通算すれば百二十回を軽く超えています。一番最初はメンバーが各自の楽器に慣れていない上に、ジャムセッション的な演奏は未経験と言う方がほとんどでした。初代の音楽クラブリーダーは、メンバーの個性を活かすプログラムを作り上げるために、どれほど心を割いたことでしょう。十年を超えるクラブ活動を通じ、昨年三月に同活動を引き継いだ私は、一年間のクラブ活動を経て、昨年三月に活動を引き継いだ私は、一年間のクラブ活動を通じ、初代リーダーを務めた保育士のたゆまぬ努力と献身に思いを馳せばにはいられませんでした。現在に至つては、クラブメンバーも少しづつ上達を続け、見違えるようになりました。自分の演奏はもちろんのこと、他のメンバーの演奏もしっかりと意識しながらお互いを活かし合う事を学んでいます。中には新しい楽器に挑戦したいと申し出るメンバーもあり、その意欲に触発されて他のメンバーにも向上心が生まれるというシーンもあります。何よりも素晴らしいと思つるのは、彼らが『ステージで輝く』ことを切望しているという点です。



これまで色々なステージに招待され演奏して参りましたが、昨年十二月二日の野津町チャリティーショー出演時の演奏は圧巻でした。体調不良により、二名のメンバーが欠席せざるを得ませんでしたが、仲間の二曲を演奏しました。リハーサルですでに力を使い果たしてしまったメンバーもいましたが、逆にリハーサルで体力を温存し(?!), 本番のステージでは最高のパフォーマンスを披露したメンバーもいました。一人ひとり、きらきらと輝きを放っていました。共に演奏しながら、彼らの真剣な姿に改めて感動を覚えました。ステージで輝くチャンスがあるならば、彼らの力は内から泉のごとく湧き出でるものなのでしょう。音楽クラブ『チエリーズ』の面々の底力は、まだまだ眠っているのかも知れません。彼らとともに目指すものが明確に掲げ、それに向かってこれからも共に歩んで行くことができれば幸せです。

できごと

おでかけ

2012年12月21日 餅つき

午前中、病棟ホールと園庭を使って行いました。もち米を炊き、それを臼と杵でついていく、昔ながらのやり方です。雨天だったため、軒下に臼を移してつくことになりましたが、つきあがったお餅はなめらかですべすべで、醤油やかな粉をつけていただきました。会場も笑顔が多く、また手を差し出す方もおられて、とても賑やかな時間になりました。



2012年12月24日 サンタプレゼント

病棟ホールに集まり、サンタクロースからクリスマスプレゼントをいただきました。サンタさんが鈴の音とともに登場すると、その雰囲気にも会場も笑顔に包まれました。さて、その中身ですが、生活がより楽しめるものだったようです。大事に使って、充実した生活を楽しみましょう。



2012年12月25日 クリスマスマサ

大分市から神父さまが来られて、地域交流ホームで潔き聖母の家の皆さん、当施設の皆さんとイエスさまの誕生をお祝いしました。神父さまからは「クリスマスの意味」についてあらためてお話をされました。「クリスマスの時期はケーキ屋さんの前に人々が並ぶ光景を目にするが、クリスマスの意味にも目を向けて欲しい」とのお話でした。大事なことも目を向けながら、世界平和を祈りました。



2013年1月1日 お正月行事

2頁目の「きらりん」でもご紹介していますが、先生から「今年はみんなが笑顔で一年を過ごせるようにしたい。そのためには自分たちも一年間笑顔で過ごしたい。のためにたくさん笑わせます。笑います、となるように」と心強い目標と新年の挨拶をいただきました。その後は職員による「初笑い」、「お屠蘇」で過ごしました。午後からは獅子舞いが出て、また病棟によっては趣向をこらした催しもあり、皆さんそれぞれに楽しまれたようです。



2013年1月

「平成24年度障がい者自立支援基盤整備事業」として助成を受け、備品を購入させていただきました。

※詳しくは11頁をご覧下さい。

2013年2月3日 大分重症心身障がい児施設連絡会

別府発達医療センターで研究発表会が行われました。当施設からも取り組みを報告させていただきました。他機関の方とも意見交換ができ、今後に活かしていくべきだと思います。会終了後は施設を見学させていただきました。利用者に配慮された新しい建物はとても勉強になりました。ありがとうございました。



2012年11月26日 ランチバイキング

ルルドの丘23号「きらりん☆」のコーナーでもご紹介しました、ひかりの大地のスタッフによる第2回ランチバイキングがホールで行われました。「多数の食べ物の中から自分で選んで喜びを感じ、食事の楽しみをいつもとは違う形で楽しんでいただきたい」との職員の強い思いが込められた会食です。当施設の場合は、お料理は栄養課の職員、そしてウェイターやウェイタレスは職員が務める内容で、参加された方も緊張なく、また普段よりも食事や雰囲気を楽しめたようです。当日はご家族の参加もあり、援助等していただきました。参加された皆様、ご協力ありがとうございました。



2012年12月16日 クリスマスの集い

今年は恵の聖母の家のチャリティによる演奏に始まり、会場の皆さんとの風船を使ったレク、そして職員による劇「神さまからのおくりもの」を通して命の大切さに触れました。最後は聖劇を通してイエスさまの誕生をお祝いしています。集いには多くの方にご参加いただきました。ありがとうございました。



2012年12月20日

全体研修(権利擁護委員会・質向上委員会)

利用者の方の呼び方について等、権利擁護について施設職員全体で話し合いを行い、改めて利用者の方の人権について再確認しました。



2012年11月29日 白杵しまむら

活動参加中は、いつも違う風景に視線を動かして、環境の違いを感じられた方、買い物の時は起きていたものの表情が硬かった方、逆に終始穏やかで、リラックスした表情で商品を手にしてゆっくりと過ごされた方、普段と違って緊張した声も聽かれず、また手を口に運ぶこともなく、リラックスした表情で商品に触ることができたりと、日頃とは違う様子もみせて下さったようです。



2012年12月4日 園内レク

施設外療育の参加が難しい方を対象に施設内で活動を行っています。ベッドから降りて過ごすことで、日頃と違う環境に周囲を確認されている様子がみられたり、プログラムの中で静かな曲を用いたマッサージでは気持ち良さそうな入眠がみられ、制作活動では指にのりをつけても眠って過ごされた方、反対に紙を破ったり糊づけの活動と一緒に行うことで眠ることなく参加が出来た方、雰囲気を感じながら過ごされたようです。



※この欄の活動は佐藤寿洋と竹尾昭彦が実施しました。

2012年11月29日～12月3日
ときめき作品展(大分市アートプラザ)

恵の聖母の家と児童発達支援センターめぐみからも出展させていただいている。会場は写真、工芸、絵画、書道等の作品が並び、表現力や工夫等でとても賑やかな雰囲気でした。当施設からの作品もいい味を出していました。良い作品には投票する形で評価されていました。出展を目指して頑張る恵の芸術家の皆さんをこれからも応援して下さい。



2012年11月15日 パークプレイス大分

参加者の一人は出発前は「家に帰る」のサインを出されていましたが、到着後は前を指差して、早く行こうとされる様子がみられました。買い物では、商品を手にされると笑顔をみせて、支払いの後は買い物袋を振りまわして職員に渡されました。他に、食事では日常に食べる機会の少ないもの(たこやき、ラーメン、クレープ)を頼まれた方もおられたようです。買物よりも食事を楽しめた方もいました。また、買物を決める等、準備されていた方も緊張されたのか、声をよく出された様子もみられました。その後は本屋さんでいろんな本を手にして楽しまれた様子で、フードテラスでのハンバーグ等の食事を特に楽しめたようでした。ご家族と一緒に過ごされ、声かけに喜ばれて、帰る時には疲れもみられた方、食べたいものを食べられて満足された方、買った物について車内で相談された方と、それぞれに楽しめたようです。



2012年11月21日 白杵しまむら

たくさん並べてある商品よりもゲームコーナーから聴こえて来る可愛い声に顔を左右に動かして、声の方を気にされて、服や帽子を身体に合わせてみても気持ちがのらなかった方、車内では穏やかで、到着後は表情が硬く、店内で商品をみると穏やかな表情に戻り、服を目にされるとうなずきながら手にされて、購入後はしっかりと持って過ごされた方、初めはうつむき加減でも、支援者がよりそって商品と一緒に手にとって過ごすことで笑顔を見せた方、自分で商品を選んで気にいったものは自分で手にして、明るい色の服を選ばれた方、「似合いますね」の声かけに嬉しそうに笑顔を見せて買い物袋を大事にしっかりと抱えた方と、有意義な時間となっていました。

児童発達支援センターめぐみ

相談支援事業の サービス利用計画の流れ

課長 井上 勝巳

保育園での集団生活が気になる。落ち着きがなく、集団から離れる、保育士さんの指示が通りない。

このようなお子さんには、

- ① 市役所（福祉課）へ申請。
- ② 申請書類とサービス利用計画案を市役所（福祉課）へ提出。
- ③ 支給決定。
- ④ サービス担当者会議。
- ⑤ 支給決定時のサービス等利用計画。
- ⑥ サービス利用。
- ⑦ ハーフタリング。

①～⑥の流れでサービスを実施します。また、一定の期間実施し、⑦サービス内容の見直しを行います。

保育所等訪問支援では、センターの職員が保育園や幼稚園等に出向き、個別の発達特性に応じた対応方法や環境調整を行っています。



生活介護の節分行事

児童発達支援管理責任者 丸山 久幸

一月一日、四田に生活介護でも季節行事の一環として節分が行われました。最近は、体調を崩されたり、インフルエンザの警報も出されたので、家から外へ出ることが難しいのではないか、そういう空気を一新してみんなで元気になる活動をしたい！という思いをこめて行いました。鬼が登場すると職員や利用者の歓声、雰囲気で笑う人、鬼の顔や登場に驚き、怖がる人、見慣れない鬼の姿に凝視してしまう人等、いつもと違う表情を、一人ひとりがみせてくれました。また、参加した職員も、「この時ばかりは」と口のかわりにボールを投げつけて回を払いします。その職員の姿に利用者も喜ばれて、一緒になつてボールを投げ、日頃のストレスも発散できるように思います。（この雰囲気をみると、いくつになっても昔ながらの風習や行事は楽しいものだと思います。）



ひとしきり豆まきを楽しんだ後は、鬼と一緒に的当てやターゲットゴルフをして交流をしました。鬼が近づこうとするとき、声を出したり、追視して行動を見張る人、鬼に誰が投しているかがわかり、笑顔で応える人や、目をそらして無視するように関わらない人と、それぞれの方の反応の違いに職員も驚かされたり、感心させられました。

結果発表で一人ひとりの活躍を賞賛し、鬼との記念写真でしめくくり、仲良く楽しい鬼との交流が終わりました。交流が苦手な方には過度の刺激とならないように関わり方には注意しましたが、衝撃が強かった人もいたようです。鬼役の職員がお面を外すと、ほっとした表情で笑いかけてくれて、鬼（＾＾）の方も気持ちがすぐわたれたようです。楽しいひと時をありがとうございました。また来年も遊びましょう。

みんなちがつて

みんなない

児童発達支援センターめぐみ放課後等デイサービスの子どもたちのご紹介を致します。

わたしは、ピーターパンが大好きな高校生。

ぼくは、指さしオッオッのくてあば

高校生。

ぼくは、顔を色々変えて、みんなを笑わせるのが得意な

小学生。

ぼくは、星のようなお田の持ち主

小学生。

わたしは、アーツ班のきれいな小学生。

ぼくは、笑顔世界一の小学生。

わたしは、何でも興味津々な小学生。

みんなちがつてみんなない。

放課後等デイサービスの窓から、紹介を終ります。

放課後等デイサービス



誕生日に

託児所



保育士 長友 幸子

去年のクリスマスミサでの神父様のお話をうかがっていて、思いだしたことがありました。野津公民館のクリスマス行事として、人形劇の公演をした時、公演後、子ども達に「クリスマスってなあに?」と聞いたことがあります。ほとんどの子ども達が「ケーキを食べる日」「わからん」という返事が返ってきました。クリスマスについて説明をし、ケーキを食べられることの幸せを考えさせました。

世界中のあちこちで起こっている国と国、民族間の紛争について、犠牲になつている子ども達のいることを話しまし。」「ケーキを食べる時、お家のみんなでこのことについて話をみて下さい」とお願いして終演しました。何人の子ども達が家族で話をしながらケーキを食べたりしようか…。神父様のお話から、あの時のことを思いながら何気なく迎えている自分の誕生日に、一つ考えてみるのも…と思いました。父や母であれば我が子の誕生日について、自分の誕生日について。

昨今、出生前検査の賛否が色々と話題にのぼっています。本当に難しい問題だと思います。出生前検査について考

ます。出生前検査の賛否が色々と話題をうかがついて、思いだしたことがありました。野津公民館のクリスマス行事として、人形劇の公演をした時、公演後、子ども達に「クリスマスってなあに?」と聞いたことがあります。ほとんどの子ども達が「ケーキを食べる日」「わからん」という返事が返ってきました。クリスマスについて説明をし、ケーキを食べられることの幸せを考えさせました。

年後、父四十九才、母三十九歳の時、私はやっとこの世に生を受けました。七月の早産だったそうです。(七ヶ月児は育つ:という)ことを母は常々言つていましたが…?)真夏だったということも幸いしたらしく、それでも湯タンポで温めたといふことです。待ちに待った二十年間、あきらめのいた父と母にとつては本当に神様からの授かりものだったのではないかでしょうか。

いろんな意味で科学の進歩も今の世には必要ですが、人の踏み込めぬ不思議な世界もあるよう気がします。

それぞれが授かった大切な命。その大切な命が誕生した日に、何か一つをテーマに考えてみる。何気なく回を重ねるだけになってしまっているその日、自分の誕生日を顧みる時に、今まで考えたこともなかつたのですが、「前に出らんなあ!人が通られんやろ!」など、言われ思わず、「すみません!!」と、謝りました。周りをよく見て気が付きました。かわいい子になつたなあと思いつながら、まだだんだん大人になつていいくんだなあと淋しい気持ちになりましたが、毎日寝顔を見てまだまだ子どもだなあと、ホッとする口を送っています。

”自慢の我が息子“

栄養課 徳丸 浩美

栄養課



親バカですが、将志は自慢の息子です。



子どもたちが田をとめる場所訓練や診察に来られる子どもたちが必ずといつていいほど足をとめて、目ります。そこには優しいキャラクターたちがいて、来る人をやさしく迎えてくれます。えつ? その場所ですか? それは…。散歩でいいほど足をとめて、目りますよ。(松山)

子どもたちが田をとめる場所

保護者の皆様から

恵での10年



廣瀬 洋惠

恵の聖母の家に初めてうかがってから10年が経ちました。日中一時支援でお世話になりました。あまり食べられなかった食事もだんだん食べられるようになり、よく風邪をひいたり、弱かったのですが、スタッフの皆さん、先生方にやさしく見守られて、すくすくと育ちました。季節の行事に参加させてもらったり、散歩したり、たくさんの人に話しかけてもらい、いろいろな事を覚えていたようです。

背ぱいしかできなかったのに、ウォーカーに乗せてもらい、歩く事を覚え、それだけすごいと喜んでいました。九歳になった時に一人で歩けるように

なりました。夢のようでした。三輪車を教えてもらったりと、いろいろな働きかけをしてもらったおかげです。訓練でもいろいろ工夫して少しづつ発達を導いてください、いろんなことに興味をもって楽しめていただいている。今では支援学校5年生になり、楽しく帰ってきて、デイサービスでお世話になって過ごしています。

家ではしてあげられない事をたくさん覚えて皆さんにかわいがってもらい、本当に感謝してもしきれないぐらいです。ありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。



左:ツリー作り



2007年12月
中央:文字カード / 右:コマを楽しんで(いずれも2013年1月)



支援学校訪問教室



みんなで喜びを分かち合う場所

大分県立臼杵支援学校 桑原 美穂

今年度より中学部2年生の生徒を担当することになりました。恵の聖母の家には、以前に一緒に学校で学習したことのある卒業生や生徒の皆さんのがたくさんいます。初めて恵の聖母の家を訪れたのは、20数年前になりますが、それからも訓練を見学させていただいたり、また、担当していた生徒が入所したりするなど、恵の聖母の家との関わりはずっと続いてきました。そして今回、臼杵支援学校から訪問教育として行かせていただくようになったことを本当にうれしく思っています。週に2回の授業で訪れるなどを、わくわくしながら楽しみに来ています。

訪問授業で感動したことは、訪問学級の児童生徒の始業式や終業式に、恵の聖母の家の利用者の方々が参加してくださることです。利用者のみなさんも、訪問学級の子どもがその学期に学習したことみんなで聞いて喜んでくださったり、また始業式では、これから学習に取り組んでいく子どもたちを応援してくださったりすることがとてもうれしく、またこんなにみんなが参加してくださることが驚きもありました。園のスタッフの方々の準備やご協力があるからこそこの訪問学級の始業式、終業式なのだからと感じています。本当に感謝の気持ちでい

っぱいです。子どもたちも、そのことを励みにして、また一日一日の学習に取り組んでいけるのではないかと感じます。

臼杵支援学校の訪問学級では、毎年夏にふれあい交流会を開催しています。その日は学校の先生たちがたくさん参加して、祭りのみこしを担いだり、ハワイアンを披露したり、バンドを作り演奏会をしたりと盛りだくさんの内容です。訪問学級の児童生徒も「はじめのことば」や「おわりのことば」などを担当して会を盛り上げます。今年は35人の先生が参加しました。この時も、利用者の方々も参加してくださいました。

また、授業では訪問学級の生徒が準備や進行をしてクリスマス会も実施しました。校長先生も参加してリコーダーを演奏し、利用者の方も感動して聞き入っていました。

学校としての授業や行事で、いつも園のみなさまの支えによってできていることを心より感謝し、これからも一回一回の授業を進めていきたいと思います。

〈ふれあい交流会〉



〈始業式の様子〉



ぴかぴか ぴかぴか ぴかぴか

2012年度に入られたスタッフをご紹介します。①お名前②職種③お住まい④趣味⑤一言



①川野詠子さん②看護助手③野津町④映画鑑賞を楽しんでいます。昨年は“踊る大捜査線”を観に行きました。面白かったですよ。映画はレンタルでも觀いています。⑤はじめてなのでいろいろわからぬことがあります。よろしくお願ひします。



①赤峰亜弥子さん②看護師③野津町④家では、教育テレビの子どもの番組の歌を歌ったりしながら子どもと遊んで過ごしています。⑤久しぶりに看護の仕事に就きました。今まで病院に勤めていたので、施設ははじめてです。よろしくお願ひします。



▼新規採用
二〇一二年十一月一日付
看護助手 川野詠子
二〇一三年二月一日付
看護師 赤峰亜弥子



ありがとうございました。
今後のご活躍をお祈りしております。

人事

▼退職
看護助手 サントス・ロウイ様
二〇一二年十一月三十日付
看護師 長田 操様
二〇一三年一月二十日付
洗濯場 西元輝美様
二〇一三年一月三十一日付

できごとの欄(七頁)でもお伝えしていますが、平成二十四年六月に「平成二十四年度障がい者自立支援基盤整備事業」として助成のお知らせがありました。当施設では児童発達支援センターめぐみと恵の聖母の方で助成を申し出、平成二十五年一月に療育を充実させる備品を購入させていただきました。療育の向上となるよう活用させていただきたいと思います。

お知らせ



▼購入備品
医療型障害児入所施設 恵の聖母の家
伝の心
キッズコーナー
iPad
ワイヤレスアンプセット
移動五十音文字カードの箱

行事予定

※青色…施設外療育 ◎…ケースカンファレンス ◎…個別面談 ◎…権利擁護・虐待防止部会 ◎…全体朝礼 ◎…労働安全衛生委員会 ◎…リスクマネジメント部会 ◎…入浴日

2013年3月			4月			5月			6月		
1	金	◎	1	月	◎	1	水	◎	1	土	
2	土		2	火	金◎	2	木		2	日	
3	日		3	水	◎	3	金		3	月	◎
4	月	◎	4	木	吉四六ランド	4	土	◎	4	火	金◎◎
5	火	金◎	5	金		5	日		5	水	◎
6	水	◎	6	土		6	月		6	木	
7	木		7	日		7	火	金◎	7	金	◎
8	金	◎	8	月		8	水	◎	8	土	
9	土		9	火	◎	9	木	リバーパーク	9	日	
10	日		10	水		10	金	◎	10	月	◎
11	月	◎	11	木	道の駅よかわ	11	土		11	火	◎
12	火	◎	12	金		12	日	ルルド祭	12	水	◎
13	水		13	土		13	月	◎	13	木	
14	木	◎	14	日	誕生会	14	火	◎	14	金	◎
15	金		15	月		15	水	◎	15	土	
16	土	◎	16	火	◎	16	木	◎	16	日	
17	日	誕生会	17	水		17	金	◎	17	月	◎
18	月	◎	18	木	◎	18	土		18	火	◎
19	火	◎	19	金		19	日	誕生会	19	水	◎
20	水		20	土		20	月	◎	20	木	◎
21	木	◎	21	日		21	火	◎	21	金	◎
22	金	◎	22	月		22	水	◎	22	土	ふれあい運動会
23	土		23	火	◎	23	木	ツミイルカ島	23	日	
24	日		24	水		24	金	◎	24	月	◎
25	月	◎	25	木	原尻の滝	25	土		25	火	◎
26	火	◎	26	金		26	日		26	水	◎
27	水	◎	27	土		27	月	◎	27	木	明野アクロス
28	木		28	日		28	火	◎	28	金	◎
29	金	◎	29	月		29	水	◎	29	土	
30	土		30	火		30	木	臼杵石仏	30	日	誕生会
31	日	ご復活祭ミサ				31	金	◎			※予定変更の場合があります

締集後記

新しい年になり、3ヶ月。4分の1目というところでしょうか。年間計画をみると、いろいろな計画が進められています。特に行事では、関係する方々に喜んでいただければと思う次第です。
2013年もまたよろしくお願い申し上げます。(SM)